

エベレストトレッキング紀行 2015

小林康宏

11月13日から12月15日の間、今年もネパールを訪問しました。これで3年連続となります。私にとってこの時期の生活の一部になりそうです。あと何年続くか分かりませんが。

今回歩いたのはエベレストへのオールドルート。

カトマンズ〜ルクラへの航空路がまだ開設されていない1953年、ニュージーランド(イギリス)ヒラリー卿がエベレスト(8850m)登頂に世界で初めて成功した時と同じルートを辿りました。

すなわち、Kathmandu〜Jiri(1905m)〜Deorali(2740m)〜Sete(2575m)〜Lamjura Bhanjyang(3530m)〜Junbesi(2675m)〜Manidingma(2194m)〜Kare(2380m)〜Chaurikharka(2530m) 4つの峠を越さねばならないアップダウンのきつい長いコースで、全体の半分以上の体力を消耗。

写真はカトマンズ、City Bus Parkにて友人のプラカシュさんと。ジリの向かうバスの屋根に乗り込む婦人。ネパールは石油不足です。屋根の乗車はもちろん禁止ですが大目に見ているようです。



Chaurikharka～Namche (3440m)～Kyanjuma～Phortse Thanga (4200m)～Machhermo (4410)
～Gokyo (4750m)～Gokyo Peak (5360m)

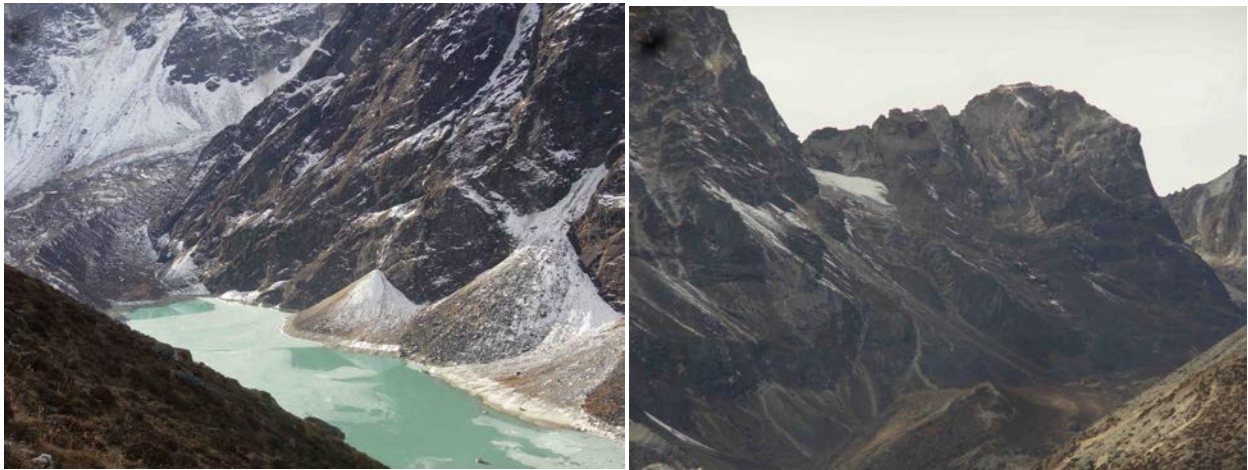
Khanjuma迄は一昨年と同じルートを歩き、Gokyo Peak。エベレストは頂上が雲の中で残念ながら見る
ことができず。



Gokyo (4750m) ~ Thangnag (4700m) ~ Cho La Pass (5420m) ~ Dzongla (4830m)
~ Dingboche (4410m) ~ Chukhung (4730m) ~ Chukng Ri (5550m) ~ Namche (3440m)
~ Lukla (2840m) ~ Kathmandu

いよいよ今回の最大の難所であるチョラパス(5420m)を越えてデインボチェに行くトラバースルートに挑戦です。このチョラパス越えについては、一度フォルツエタンガ迄降りてパンボチェ～デインボチェに到るエスケープルートもあり悩みました。結局チョラパスを越えました。

チュクン・リ(5550m)は最高到達地点。



2015・4・25・ネパール大地震 その後

トレッキングコースで最も被害が大きかったのはランタン谷。世界で最も美しい谷とされていますが、既にある程度復興が進み、トレッキングは可能だそうです。

私が歩いた中ではアチコチで被害がみられました。カトマンズの世界遺産ダルバール広場も大きな建造物3つが全壊し、瓦礫などまだ片付けが進んでいません。



ネパールあれこれ

歴史にもしもはありませんが……………

ドイツの文豪ゲーテは彼の著作イタリア紀行のなかで”ナポリを見て死ね！”と書いています。しかし私はもしゲーテがネパールを旅行してヒマラヤを見ていたら”ヒマラヤを見てしね！”と書いたかもしれないと思います。

ネパールの人口は約2650万人、国民の81%はヒンズー教徒、11%が仏教教徒、4%がイスラム教徒他。カースト制は廃止されており、法の前に平等が保証されている。宗教的な対立は全く存在しない。93の言語をもち、100を超える多民族国家である。シェルパ族、グルン族、など見ただけでは日本人と全く見分けのつかない民族もいます。多くは山岳地帯の村に住んでいます。

シェルパ族はガイドやポーター、ホテルやロッジの経営など、登山に関係した仕事をしている人が多い。タカリ族は料理人、ブラマンは僧職、チェトリは軍隊などのように、民族により職業にかたよりが見られる傾向がある。



国民性は概して明るく、親切、紳士的、人なつっこい。年配の女性は色鮮やかな民族衣装をまとっている。若い女性は日本と同じようにカジュアルな洋服。男性はイタリア製の生地を使ったオーダーメイドのスーツを着こなして街を歩いている人が多い。ネパール人はオシャレ？しかし普段着はノースフェイスのダウンジャケットを着ている人が圧倒的に多いのである。ノースフェイスの正規店の両隣のトレッキングギアの店で堂々とコピーを売っています。価格は1/10～1/20程度。マーモット、パタゴニア、なんでもあります。

ネパールは東南アジアに属しています。緯度は日本の奄美大島くらいです。カトマンズの標高は1200mですが気候は昼間は温暖で過ごしやすい。四季はありません。乾季と雨季だけです。今は乾季ですが日本のように紅葉は見られません。

多民族国家のせいか喧噪に満ちてエキサイティング、混沌とした印象。しかし秩序はしっかり保たれており日本以上に安全な国かもしれません。

